

清恵会医療専門学校 看護学科 令和7年度

自己点検・自己評価による評価

	点検・評価項目	点検・評価項目総括		課題と解決方法・ 特記事項
		評価	現状・具体的な取り組み等	
1 教育 理念 ・ 目的 ・ 育成 人材 像	1-1 理念・目的・育成 人材像は、定めら れているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念・目標を募集要項やホームページに明記し、オープンキャンパスから各種オリエンテーション、実習ガイダンスにいたるまで、学校行事と連動させて学生へ効果的に周知・浸透させています。	教育理念・目標をホームページや入学時ガイダンスで徹底して周知し、すべての教育活動の核として一貫性のある教育を確実に実践・推進していきます。
	1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	確実な知識・技術・態度を育み、社会に対応できる看護専門職の育成により就職率100%を維持しています。さらに母体病院との強固な連携により、資質を高める最適な環境で優れた人材を育成しています。	実習等の経験を意味付けして臨床実践能力の確実な修得を図り、就職率100%を維持し続けます。今後も就職先からの良好な評価を背景に、地域の医療施設に定着し、長く貢献できる看護人材の育成を推進していきます。
	1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	病院附属の強みを活かし、医師や看護師による講義と手厚い実習サポート体制を構築しています。さらに、学年を超えた学び合いや、他学科との協同学習を取り入れ、多様な視点を持つ実践的な看護人材を育てています。	アクティブラーニングを活用した演習と、母体病院の専門家による高水準な授業をさらに推進します。他学科との協同学習も強化し、将来のチーム医療の土台となる多職種連携への意識を確実に育てていきます。
	1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	社会のニーズに応えるため、学生の習熟度(レディネス)に応じた地域生活者への看護教育を実践しています。入学生の多様性を尊重したきめ細かな指導を通じ、保健・医療・福祉の幅広い分野で活躍できる看護師を育成しています。	地域包括ケアシステムに対応し、あらゆる場で活躍できる看護専門職の育成を推進します。臨床判断能力、コミュニケーション力、多職種連携、保健指導力を確実に培い、人々の多様なニーズに柔軟に応えられる看護師の育成を目指します。
2 学校 運営	2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人の中長期計画に基づく運営方針のもと、運営会議や学科会議を通じて全教員への周知徹底を図っています。学校が一体となり、教育理念に沿った健全な学校運営を実践しています。	法人の中長期計画に基づく運営方針を、月1回の運営会議を通じて確実に共有・確認します。看護学科・診療放射線学科の強みを活かした協働体制をさらに強化し、組織目標の達成に向けて計画的な運営を実践していきます。

2 学 校 運 営	2-2 理念等を達成する ための事業方針を 定めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	法人の中長期経営計画に連動した年間教育計画のもと、学科・学年・個人へと一貫した目標を設定しています。組織の方向性と一人ひとりの成長を明確につなぎ、確かな教育成果へと結びつけています。	“ありたい姿”を見据えた経営計画マスタープランと事業戦略に即し、明確な事業方針を定めます。進捗確認を徹底し、必要に応じた計画の修正や柔軟な見直しを適切に行うことで、事業の確実な発展と目標達成へと導いていきます。
	2-3 学校運営のための 組織を整備してい るか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	組織図に基づき、運営に必要な委員会や会議を機能的に開催しています。迅速な意思決定と適切な情報共有を行うことで、健全で適正な学校運営を確実に実践しています。	学校運営のさらなる適正化と効率化を図り、透明性の高い学校運営を行っていきます。
	2-4 教員の組織体制を 整備しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	業務分掌および服務規程を諸細則に明記し、教務科長をはじめとする8名の教員を専門領域に応じて最適に配置しています。クラス運営や委員会活動など、教育効果を高めるための機能的で強固な組織体制を整備しています。	業務分掌と服務に関する規程を明確に定め、教職員が一体となって円滑に機能する組織体制を維持・発展させていきます。
	2-5 人事・給料に関す る規程等は策定さ れているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	人事および給与体系は、設置主体である法人の規程に準拠して適正に決定・運用されています。強固な法人基盤のもと、公平性と透明性の高い安心の雇用環境を整備しています。	設置主体が策定した人事・給与規程に基づき、適正な労務管理を行います。役割等級制度の厳格な運用により各員の役割を明確にし、公平で納得感のある評価処遇体制の維持・強化に努めます。
	3-1 教育理念等に沿っ た教育課程の編 成、実施方針を定 めているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育理念に直結したカリキュラムを構築し、各年次の教育内容や実施方針を専任教員と外部講師で緊密に共有しています。学生に対しては入学時および進級時にガイダンスを行い、理念の確実な周知と共有を図っています。	カリキュラムの定期的な評価・検討のもと、必要に応じた内容修正を適切に行います。常に教育理念を軸に置いた最適な教育活動を維持し、さらなる教育の質向上を推進していきます。
3 教 育 活 動	3-2 修業年限に応じた 教育到達レベルを 明確にしているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	年次ごとの教育到達レベルを明確に設定し、学則や諸細則に基づく科目履修・評価基準を厳格に定めています。これらを教員・学生間でしっかりと共有することで、透明性が高く安心感のある教育環境を実現しています。	年度ごとの教育目標の到達レベルを明確化し、年次目標の達成に向けた効果的な指導・教育を行います。学生一人ひとりが確実な成果を得られるよう、段階的な学習支援を徹底していきます。

3 教育活動	3-3 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	教育目的・目標に直結したカリキュラムを編成し、学生の習熟度(レディネス)に最適化した教育内容を提供しています。さらに教員間で密な共通認識を図ることで、組織一丸となったブレのない統一指導を実践しています。	教育目的・目標に沿った教育課程について、外部講師と専任教員間での確実な共通認識を図ります。連携体制をさらに強化し、ブレのない一貫性と継続性のある効果的な教育を組織全体で推進していきます。
	3-4 教育課程について、外部の意見を反映しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	講義ではシラバスを軸に講師陣と方針を共有し、実習では医療施設との調整会議を通じて現場の意見を積極的に反映しています。さらに、卒業生の生の声も教育課程の編成に取り入れ、社会のニーズに即した実践的な教育を展開しています。	外部講師や実習担当者との密な情報共有を徹底し、学生のレディネスに即した効果的な教育を実践していきます。さらに、卒業生からの意見を継続的に収集・分析する仕組みを強化し、学生の主体的な学びを引き出す最適な教育課程編成を推進していきます。
	3-5 キャリア教育を実施しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	入学時より社会人基礎力の修得を推進し、母体病院の看護師による講義や実習指導を通じて、早期からキャリアデザインを描く機会を設けています。これにより、学びへの高い意識を醸成し、看護専門職としての責任感と自覚を確実に養っています。	卒業後を意識した社会人基礎力の修得を推進し、専門職業人としての主体的な自己啓発を促します。今後は母体病院の認定看護師や看護管理者による講義・セミナーをさらに拡充し、学生が将来のキャリアデザインをより明確に描ける環境を整備していきます。
	3-6 資格・要件を備えた教員を確保しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師養成所設置基準に基づく専任教員数を確実に確保しています。また、講習未受講の教員についても大学にて教育に関する4単位以上を修得済みであり、質の高い指導体制を整えています。	法的要件のクリアにとどまらず、設置基準を上回る専任教員を配置します。今後も手厚い指導体制を維持し、学生一人ひとりの成長を支える丁寧な教育活動をさらに推進していきます。
	3-7 教員の資質向上への取り組みを行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	各教員が自己研鑽を個人目標に掲げ、主体的に教育の質向上に取り組んでいます。研修後は教務会議での伝達講習を通じて学びを全教員で共有し、組織全体の教育実践力の向上へと確実につなげています。	外部講師による教育研修や勉強会の開催を推進し、教員が主体的に自己研鑽に励むことができる環境を整えていきます。個々の専門領域における能力向上を組織的にバックアップし、学校全体の指導力の底上げと教育の質向上を図っていきます。
	3-8 授業評価を実施しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	講義や実習の終了後は、学生が期限内に適切な評価を実施しています。毎回のリアクションペーパーから理解度をタイムリーに把握するなど、各教員が評価内容を確実に見つめ直し、次回の講義や実習の質向上へと確実につなげています。	学生による授業評価を適切かつ確実に実施します。教員個々がその結果をタイムリーに振り返る仕組みを定着させ、日々の課題を次回の授業や実習の改善へ柔軟に活かすことで、教育効果の継続的な向上を図っていきます。

3 教育活動	3-9 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学則に則り、科目履修や卒業に関する厳格な基準を定めています。年度末には年間成績を学生へ提示し、透明性の高い評価体制を維持しています。	学則に定められた成績評価・修了認定基準に基づき、客観的で適正な運用を継続します。進級や卒業などの単位認定に係る事案は、学科会議での多角的な審議と校長的確な最終判断・決定のもと、今後も公正で厳格な教育管理を推進していきます。
	3-10 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	学内では、協同学習や課題学習、教科外活動の成果発表の機会を積極的に設けています。実習報告会では発表方法を工夫し、教員や病棟指導者も交えて学びを深く共有することで、確かな成長と教育成果の把握につなげています。	学生主体の工夫を凝らした各種発表会（課題学習・実習報告・事例研究）を推進し、教員・実習指導者で成果を確実に把握します。成果物の学内掲示を徹底し、学年を超えて学び合える環境を維持・発展させていきます。
	3-11 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているのか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	看護師資格の取得と国家試験合格を最終目標に掲げ、入学時から各種ガイダンスを通じて段階的な目標設定と意識づけを継続的に行っています。	看護師免許の取得を教育課程の核として明確に位置付けた上で、学生一人ひとりがより高い目標を達成できるよう、指導体制やカリキュラムの充実を継続的に図っていきます。
	3-12 資格・免許取得の指導体制はあるか	④ 優れている 3 ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	資格取得を教育課程に体系づけ、年間計画に沿って習熟度別国試支援を行っています。さらに現行カリキュラムでは、ロールプレイングによる臨床判断能力や地域法制度の学習を強化し、教育の質をさらに高めています。	国家試験対策委員会を中心に模擬試験や補習講義の年間計画を立案・実行し、確実な合格に向けて組織的かつ計画的な支援を継続して展開していきます。
4 学修成果	4-1 就職率の向上は図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	就職率100%の実績を基盤に、母体病院への就職目標達成に向けて法人との連携をより緊密にし、組織的な支援体制を構築しています。	就職率100%の実績を基盤に、母体病院への就職率向上という次なる目標へ向け、法人と強力に協働して取り組みを推進していきます。
	4-2 資格取得率の向上が図られているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	1年次から模擬試験や対策講義を定期的実施し、少数制の学習手法を取り入れています。3年次には実習と並行して自主学習が進められるよう、学習・メンタルの両面から手厚くサポートしています。	正しい生活習慣と自律的な学習姿勢を養い、学生の可能性を最大限に引き出します。主体性を育む丁寧なサポートで、国家試験合格という確かな成果へ繋げていきます。

5 学生支援	5-1 学生相談に関する支援を整備しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	担任と副担任を中心に、学科教員が一丸となって学生の成長を支えます。定期面談や保護者との連携に加え、専門のスクールカウンセラーとも迅速につなぐ万全のサポート体制です。	相談窓口の周知と環境づくりを継続し、いつでも学生の希望や状態に寄り添い、スクールカウンセラーと連携した迅速な解決体制を継続していきます。
	5-2 学生の経済的側面に対する支援を整備しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	独自の修学資金制度の案内や、学費の猶予・分納相談に柔軟に対応しています。日本学生支援機構の手続きも事務が丁寧にサポートしています。	学生の8～9割が利用する法人奨学金や日本学生支援機構の案内を、今後も継続していきます。経済的な不安をゼロにするため、より手厚い相談体制とスムーズな手続き支援を推進し続けます。
	5-3 保護者との連携体制を構築しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	成績不振者や出席率が悪い学生の状況に合わせて保護者面談をタイムリーに行い、ご家庭と心をつなぐサポートしています。保護者からのご相談にも即座に対応し、常にベストな解決策を共有しながら学生の未来を支えています。	学生の変化を捉えて早期に保護者面談を行い、強固な連携体制を築いていきます。迅速な現状共有により、ご家庭とともに学生の確実な成長を支え続けていきます。
6 教育環境	6-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	教育用具は適切に整備・補充しています。施設は随時補修を行い、学習に影響のない環境を維持しています。	今後も経年変化が見られる施設・設備については、計画的な改修工事を継続的に実施し、常に安全で快適な教育環境の維持・向上に努めていきます。
	6-2 防災に対する体制は整備されているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	年1回の消防訓練や地域防災センターでの学外学習、災害時の基本方針・安否確認方法の整備しています。	防災の基本方針やマニュアルの整備に加え、教科外活動での防災センター体験を活用しています。今後はこれらの基盤を活かし、災害時を想定した実践的な防災訓練の実施に向けて体制を強化していきます。
	7-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供等の取り組みが行われているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	教務部長、教務科長、事務課長が高校訪問を重ね、新入試制度の情報を積極的に発信しています。また、大阪府の進学相談会や高校進路研究会の交流会にも参加し、密な情報連携と関係強化を図っています。	今後とも高校訪問による情報提供を継続し、大阪府看護学校協議会や高校進路研究会との交流をさらに深め、教育現場とのより強固な情報共有とネットワーク構築を目指します。

7 学 生 の 受 入 募 集	7-2 学生募集活動を適切かつ効果的に取り組んでいるか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	オープンキャンパスや学校見学は、時期・回数を検討し、教員や在校生の参画により実施しています。さらに、ホームページやInstagramを通じ、教員も交えて学校生活がイメージできる学生の近況などを定期的に掲載し、内容の充実に努めています。	体験型オープンキャンパスの実施やホームページの充実を通じて学生募集活動を推進します。今後は新たな受験形態の導入などの施策を展開し、多様な受験生のニーズに応える募集体制のさらなる強化を図ります。
	7-3 入学選考基準を明確化し、適正に運用されているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	入学選考は基準に基づき適正に実施しています。事前に教員間で求める学生像を共有し、小論文や面接の課題を精査することで、選考基準の統一性と審査の公正性を担保しています。	教員間で求める学生像の共有をさらに深め、小論文や面接課題の精査を継続します。時代や志願者の動向に応じた選考基準の統一を図り、今後もより適正で公正な入学選考体制を推進していきます。
8 財 務	8-1 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	予算および事業計画は設置主体法人への報告・確認のもと、計画に基づき適正に執行しています。決算報告についても同様に適正かつ厳正に執り行っています。	適切な予算計画の策定と事務部門との連携をさらに強化し、適正な執行管理を徹底します。今後はより効率的な資金運用と透明性の高い財務基盤を構築していきます。
	8-2 財務について会計監査が適正に行われているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	社会医療法人会計基準に基づき、公認会計士による監査を受けています。	財務について会計監査が適正に行われています。
9 法 令 等 の 遵 守	9-1 法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	専修学校設置基準を遵守し学校運営を行っています。	継続して法令や設置基準を遵守して適切に学校運営を行っています。
	9-2 個人情報保護に対する対策を講じているか	④ 優れている ③ ほぼ適切 ② やや不適切 ① 改善が必要	個人情報保護規程に基づき、適切な情報管理を徹底しています。実習前にはガイダンス等で注意喚起を行うとともに、誓約書を締結したうえで実習中の個人情報保護を厳格に義務付けています。	個人情報保護規程に基づく安全対策を徹底し、定期的な情報共有を通じて教職員の危機管理意識をさらに高め、法令遵守の教育を継続し、より強固な情報セキュリティ体制の構築を推進していきます。

9 法令等の遵守	9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	授業評価や実習評価の実施により問題点を明確化しています。さらに教員の意見を広く募って各種会議に諮るなど、組織的な教育活動の改善へとつなげています。	専任教員個人の目標と評価項目を連動させたシステムを基盤とし、年1回の厳正な自己評価を継続します。抽出された課題は学科会議で迅速に共有・検討し、未来を見据えた組織的な教育改善をさらに推進していきます。
	9-4 自己点検結果を公表しているか	4 優れている ③ ほぼ適切 2 やや不適切 1 改善が必要	ホームページ上で公開している。	特記事項なし